

二宮町町民活動推進委員会 第1回委員会議事録

日 時：平成19年4月11日（水）19：00～20：30

場 所：二宮町役場2階・第1会議室

出席者：山内和夫委員長、高橋武士副委員長、稲葉茂徳委員、奥慶子委員、向後孝明委員、
神保智子委員、瀬戸宏委員、高山琢磨委員、高橋克美委員

欠席者：関野勝治委員、蜂須賀光子委員

事務局：安部課長、二見係長、後藤主事

傍聴者：なし

配布資料（当日配布）

- ・ 会議次第
- ・ 委員名簿
- ・ 資料1・・・平成19年度 町民活動推進委員会の事業計画について
- ・ 資料2-1・・・協働まちづくり補助金の申請団体募集について
- ・ 資料2-2・・・協働まちづくり補助金募集のお知らせ
- ・ 資料2-3・・・協働まちづくり補助金制度に関するQ&A
- ・ 資料3・・・平成18年度協働まちづくり補助金審査について
- ・ 別添・・・平成18年度 協働まちづくり補助金報告会の事務局案について

1. 開会（安部課長より）

2. 委員長あいさつ

- ・ 19年度当初の委員会となるが、議事進行について協力願いたい。今回の会議は前回（2月開催）の確認と19年度の審査方法等を具体的に詰めていきたい。

3. 新委員の紹介

◆事務局より確認事項（安部課長より）

- ・ 前回の会議の時に小野委員（ヤオハン店長）さんから異動があったとの事でお話しがございましたので、19年度より稲葉さんをお願いすることになりました。また総務部長の関係では人事異動によりまして、高橋部長が新たに選任されました。

- ・ ～各委員及び事務局より自己紹介～

4. 議題

◆事務局より確認事項

- ・ 1点目は、議事録署名人ですが、今回は山内委員長と瀬戸委員にお願いします。
- ・ 2点目は本日の議題は3点ございますが、会議の進行において、皆様のご協力をお願いします。

(1) 平成19年度の事業計画（取り組みスケジュール）について…（資料1）

◆（資料1）を説明した。（二見係長）

- ・ 前回の会議の中でご協議頂いたので、「確認」という形になります。
- ・ 6月17日（日）の補助金交付第2次審査（公開プレゼンテーション）は一日の日程ならラディアンにて行うが、15団体を超過してしまった場合は16（土）と17（日）の二日間で福祉センターにて行う。

（委員）前回の会議に出席できなかったのだが、昨年度の決算の審査はされたのか？

（委員長）まだです。

（事務局）18年度の交付団体の決算（事業実績報告書）の提出は4月27日です。実施された事業経費が補助した金額に満たない場合は返金して頂く。という事を文書でご案内しています。

（委員）4月26日（木）の説明会は事務局がやるのでしょうか？

（事務局）任意ですが、委員さんにも参加して頂ければと思います。

（委員）8月下旬の表彰制度は我々委員が表彰することかどうか以前協議があったと思うが、どうなりましたか？

（事務局）町がやるのが本当に外部から見て良いのか？という事で、できれば意見聴取ぐらいはしたい…という話でありました。

（委員長）部内でどうするのか、一定の話を出して頂いて、もし議論するなら私達も議論して意見を出して、委員会で「やらない方が良い」と話が出ればその辺りを町がどう判断するか？である。

(2) 平成19年度協働まちづくり補助金の申請について（資料2-1～3）

◆資料2-1（広報にのみや4月号の差込）について説明した。（二見係長）

- ・ 募集期間は4月12日（木）～5月18日（金）です。

（委員）同一事業に対して、二宮町から他の補助金を受けている団体は対象外になる訳だが、私の知っている団体が町会から補助金を貰っているのだが、そういった団体はこの補助金を申請できるのか？

(事務局) 町からの補助金という部分について説明すると、地域のほうに出しているのは支援交付金ですので補助金とは別になります。ですので、そういった点では補助金対象になります。

(委員) プレゼン(6月17日・土)は2日間になるというのはいつ分かりますか？

(事務局) 5月23日(水)にある程度(申請団体数を見て)精査できますので、その後にご連絡できると思います。

(委員) 最後の決算報告を受けて、不正が見付かった場合、交付金の返還義務がありますか？

(委員長) もちろん、不正処理があった場合は全額返金でしょう。

(事務局) 町の補助金交付規則もあり、その場合には返金となります。

(3) 平成19年度協働まちづくり補助金の審査について

◆資料3(平成18年度分)について説明した(二見係長)

(委員長) 平成19年度の審査の流れを大きく変更したら良いか、このままで良いか、意見を伺いたい

(委員) 応募状況によって違ってくると思うのですが、昨年度は予算に対して応募額が下回って、満額の団体が多かったのですが、仮に予算を上回る応募があって全ての団体に補助金を交付するとなったときにどのような交付方法を取るか。広く浅くではないが、基本的に多くの団体を補助したい場合に、減額してでも(例えば交付額の50万円を40万円にしてでも)なるべく多くの団体に交付をするのか。それとも、順位を付けて(得点が多いところから)予算額まで交付するということなのか？

(委員長) 町の考えはどうですか？

(事務局) まだそこまで議論をしてないのだが、今後の委員会での決定をお願いしたい。

(委員長) 点数で合格を出し、不合格は除外する考えで良いとは思いますが、『合格をさせた場合にその点数の優先順位で配分して行って、予算額だけで打ち切った際に合格したのに貰えなかった団体が出てきても構わないとする』か。若しくは、『やはり合格させたのだから、多少でも補助金を出すべきだ』と考えるか。それによって、全体で割るのか、順位で交付するのかが異なってくると思うが、その点についてご意見を伺いたい。

(委員) 確かに考え方が二つあるのだが、申請がすべてあがってこない今の段階では何とも言えないのではないかな？

(委員長) そうすると、5月23日(水)に団体数があがって、一時審査を経て、何団体残ったと、いった時におおよその見当を付けて議論しましょうか？

(委員) そうですね。そこで基準を決めましょう。それと、一つ訊きたいのだが、年間

300万円の予算を町は3年間で900万円積み上げて予算確保をするものなのか、平成18年度は実際には300万円の予算の中で150万円しか補助金交付してないのだが、今年度はその残った150万円プラス300万円になるのか？

(事務局) 単年度の中で300万円の枠ですから、昨年度の残ったものはプラスされません。

(委員) 前回、不合格を出した時の点数の付け方なのですが、不合格にした方を除外して交付額の平均を出したのですよね。その際、その平均の出し方が変だというのは話したと思うのですが…その協議は決まっていたっけ？

(委員長) まだ決まっていません。1回目で合格を出し、2回目の金額を決める時に、不合格を出した人は不合格なりの算定をもって参加した方が良いでしょうね。それを除外すれば合格した人たちでの分配になりますから。そうすればそこで、ある一定の減額要件にはなろうと思いますが、これも合意が出来ないで、次回話そうということになっていたと思うが。また、団体に入っていたら審査員には加わらない方が良いという話もしていたが。皆さん考えてきてくれますか？これは宿題にしたいと思います。

欠席している方にも事務局の方でもこの問題について、いついつ議論するので、委員なりの考えを持ち寄るよう伝えて貰えますか。

(委員) 他の市町ではどうですか？

(事務局) 平塚市だと、上位から優先して行って、予算が来たところで打ち切ります。団体数が多いのでどうしても振り落とさなければいけない。

(委員) 23日(水)の前に補助金の締め切りがあって、資料はいつ頃ですか？

(事務局) ある程度提出された段階でお届けします。(何日現在、これだけ申請がありましたというようなかたちで送付)

(委員) 団体に加盟している人は審査員から外すかどうかという話があったが、実際に私も応募団体の代表であるわけで、前年度は自分の団体の審査からは抜けた。そして、この4月に代表が変わる。そうした場合に委員としての活動がどうなのか知りたい。

(委員長) 町の見解は？

(事務局) 特に問題はありません。町民活動団体ということから選出していますから、代表者云々という規定はありません。委員さんの場合は代表を抜けても委員としての資格がございます。

(委員) 代表だから審査委員を遠慮していたのだが、団体の会員ではあるが代表ではない。そういった委員は今までより審査に対して客観性をもつのでは。それを自分が所属しているだけの理由で審査から抜けるというのはどうかなというのが訊きたい。

(事務局) 今ここではっきりさせておかないと、今回の募集資料6ページに下の米印の所に『第1次審査・第2次審査において審査委員が応募団体の関係者(委員本人が団体に所属・委員の配偶者)である場合は、委員長に事前に申し出るものとします。申し出た委員は、関係する応募団体の審査時には退席し採点を行わないものとします』とありますから、もし次回に宿題になるとこの部分が決まらない。

(委員長) それでは今決めましょう。欠席委員さんはいますが、多数決でいきましょう。

(委員) 公平性を保つため審査からは抜けたほうが良いと思います。

(委員長) 私は退席する必要は無いと思います。委員ですから皆さん良識を持って参加されている訳だから、それで左右されるようなら委員を辞めた方が良いでしょう。

(委員) 昨年の採点をする際に審査員を抜けるという話は、我々推進委員から見ると、どちらでも良かったのですが、むしろ昨年当事者の方から「私が抜けた方が良いでしょう」と話が出た。しかし、基本的には委員として出席してる訳だから、全員で採点するのは構わないと思う。例えばそれが心無い人たちの憶測などで、非難される事はあるかと思いますが、それはむしろ委員として自分たちの活動で胸を張るべきことです。当事者が気にしなければ審査員として採点すれば良い。

～委員全員の意見を訊く～

(委員長) それでは、委員も審査員をやってみましょう。それで駄目なら元に戻せば良い訳だし。かえって、審査に加わることにより慎重になったり、そういう事を期待したいですね。最終的に委員長が判断を下したということをお願いします。

(4) その他について

◆平成18年度協働まちづくり補助金報告会の事務局案について安部課長より説明

(委員) 報告会でまとめた内容をHPで掲載できるか?

(事務局) 当日の会場の風景や資料も載せられるが、パソコンのデータでやってる団体はそのデータを貰わなければならない

(委員長) 15時から発表終了・委員長及び各委員から簡単なコメントやアドバイス発表とあるが、スタート支援・午前とステップアップ支援・午後に分けられますか? それに、15時にスタート支援のコメントアドバイスをするとすると、ここまでの時間ずっと待たす形になりますよね。

(事務局) わかりました。この部分はスタート支援の報告が終了したところで講評をお願いするかたちにしたいと思います。

◆次回会議は5月23日（水）に開催予定

5. 閉 会（山内委員長より）

◆20：45に閉会した。

議事録署名人

議事録署名人
